

Rotary International District 2500

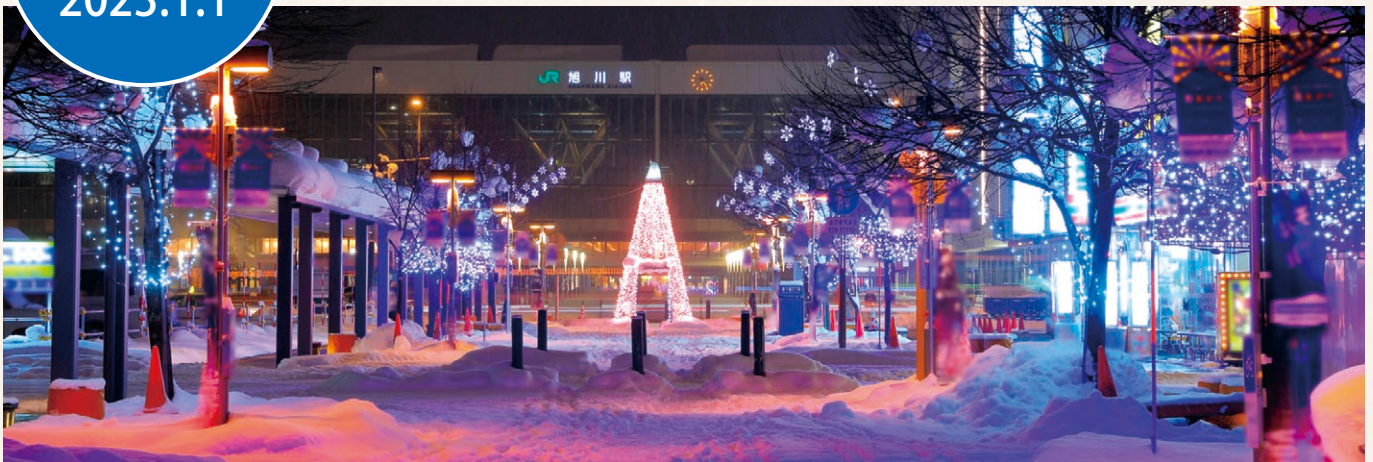
Governor's Monthly Letter

2022-2023



Vol.7
2023.1.1

ガバナー月信



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ロータリー財団補助金管理セミナーを終えて	3
職業奉仕月間に寄せて	5
社会奉仕委員会	7
第4回 第1エリア代表者会議	8
米山奨学生レポート	10
ガバナーノミニーマニフェストの公表	11
審議会代表議員の選出	11
RI日本事務局 財団室NEWS	12
ハイライトよねやま	13
コーディネーターNEWS	15
新入会員	18
米山功労者報告	18
ロータリー財団寄付者報告	18
例会出席率及び会員数推移	19
RI 2500地区 下期行事予定表	20



ガバナーメッセージ

2022-23年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー 久木 佐知子
(旭川西RC)

新年のお慶びを申し上げます。

今年は「卯^{うさぎ}」年ですね。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる。回復する。とも言われ縁起の良い年として知られているようです。また、卯は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」や、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」の象徴と考えられ、新しいことに挑戦するには最適な年とも言われています。

今年は「ウサギ」にあやかって「飛躍」のある年にしたいと思います。

お陰様で私のガバナー年度も無事に半年を終えることができました。就任以来、公式訪問、地区大会、世界ポリオディと会員の皆様には地区の行事にご協力をいただき心より感謝申し上げます。これからの任期も引き続き皆様のお力をいただき邁進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

さて半年を振り返り地区の現況報告をさせていただきます。まず会員数ですが、世界では2022年7月1日の時点で1,166,331人となり、前年同月比から3,568人の微増でスタートいたしました。2500地区は年度初めの7月は2,148人で、11月末の時点で98名の入会をいただき2,246名となりました。内、女性会員も18名増えています。少しずつですがコロナ以前の数字に戻りつつあります。

クラブ数は66クラブで、衛星クラブが1クラブ新設されました。ローターアクトクラブは前年度の10クラブから1クラブ減の9クラブ、60名からのスタートになりました。ローターアクトクラブにつきましては本年度よりRIに人頭分担当金を支払います。加えてロータリーの補助金事業に参加できるようになりました。昨年11月の「財団管理セミナー」には複数のローターアクトクラブのメンバーが参加し、補助金について学ぶ姿を拝見しました。スポンサークラブとともにインパクトのある事業に取り組んでいただければと願っております。

今年度の地区目標として2つ以上の新クラブの創設を掲げております。地区ではこれまでEクラブ、衛星クラブ等の設立はありますが、新クラブについては音更ロータリークラブ以降30年以上ありません。現在、66クラブの会長、幹事様宛に「上半期を振り返って」のアンケートを実施しております。会員増強やDEIへの取り組み、新クラブ創設、戦略計画等についてお伺いさせていただき回答をいただいております。多数のクラブが前向きに取り組んでくださり目標達成にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。回答のなかには女性だけの衛星クラブ設立を考えているクラ

ブがございました。

さて、会員増強につきましては邵龍珍会員増強委員長が中心となり、各分区ごとにZOOM会議を開催していただきました。参加されたクラブ会長や幹事、会員増強委員長様からはさまざまな意見とアイデアが寄せられました。また問題点も浮き彫りになりました。現在、意見を集約中ですが、このデーターをいかして後半の会員増強に弾みをつけたいと思います。2023年にも2度目のZOOM会議が計画されています。

アンケートの結果やZOOM会議でいただいたご意見につきましては事務局でしっかりと分析をさせていただきます、月信にて公表させていただきます。会員増強の一助になれば幸いです。

RIでは2023年までに女性会員の比率を30%にする目標を立てています。現在、世界のロータリークラブにおける女性会員の割合は25%で、最も低いのは日本の7%です。2500地区は5%未滿と全国的にも低いことから、今年度は女性比率を5%から10%にすることを目標にしています。地区大会では女性会員と入会3年未滿の会員に向けてセミナーを開催いたしました。会員増強にはDEIの理念とロータリーの公共イメージの向上が何より重要です。

今後の計画として、現在日本のロータリーで活躍されておられる服部陽子PDG（第2750地区2018～19年度ガバナー）、ロータリー公共イメージコーディネーター、2022～23年度RI研修リーダーをお迎えして、旭川で女性集会「輝く女性たちへ、Lady Go!」（仮称）を開催する予定です。対象は地区内ロータリークラブ及びローターアクトクラブの女性会員のほか、会長エレクト、DEI担当委員長などの参加も歓迎します。目的は会員同士のつながりと会員の増強です。国際ソロプチミストや商工会議所女性会など他団体の会員にも参加していただき交流の場となることを期待しています。この企画は会員増強委員会とDEI委員会の共同事業とし、イメージ向上委員会にもサポートをいただきます。



服部陽子ロータリー公共イメージ
コーディネーター、
2022～23年度RI研修リーダー

現在女性会員を対象にアンケートを実施中です。意識調査のほか、ハラスメントの有無やクラブ内での居心地等を訊ねています。地区の現状を把握したうえで、服部陽子講師とも共有し当日の講演に生かしていただく予定です。各種アトラクションもご用意させていただきました。皆さんとともにロータリーの未来について語り合いたいと思います。

地区のデーターによりますと2018年頃から女性会員の入会が増えています。また、RIのデーターでは会員の満足度や維持率に影響を与える要素として、他のクラブ会員との関係における快適さがあげられています。

女性が組織の中で活躍できるような環境づくりを進めたいと思います。皆さまのご参加とさらなるご協力をお願い申し上げます。



会員増強委員会によるZOOM会議の様子



ロータリー財団 補助金管理セミナーを終えて

地区ロータリー財団副委員長 **本間 公三**
(網走RC)



昨年11月27日（日）旭川市で、地区ロータリー財団補助金管理セミナーを開催しました。鶴見年度でグローバル補助金または地区補助金の申請をするためには、このセミナーを受講する事が必須条件となっています。今回は地区内49のロータリークラブと、今年から地区補助金を申請できるようになりましたローターアクトクラブも4クラブが参加してくれました。

開会宣言、点鐘の後、久木 佐知子ガバナーよりご挨拶を頂き、地区ロータリー財団本間副委員長が管理セミナーの開催目的について話し、その後、グローバル補助金チームの行木リーダーがグローバル補助金の留意点について説明しました。

グローバル補助金を利用するには、活動内容が七つの重点分野の何れかと合致する必要があり、実施する期間に制限はありませんが、事業費は3万ドル以上が条件となります。実施国側でも事業費の一部を負担しますが、当地区ではDDF（地区財団資金）から1万～1万5千ドルを拠出し、その金額の80%をWF（国際財団資金）より上乗せされ、総額1万8千～2万7千ドルとなりますので、クラブからの拠出金は1050ドルだけのケースがほとんどです。

実施国の情報はグローバル補助金チームを通じて知る事が多いので、参加を希望するクラブは地区へ事前に意志を伝えてください。情報が入り次第内容を精査し、グローバル補助金事業として実施する、と地区が判断した後に参加希望クラブへ連絡し、参加の有無を確認します。ぜひグローバル補助金事業に手を挙げて国際奉仕活動を経験して頂きたいと思います。

次に地区補助金について工藤リーダーより「地区補助金ガイドブック」に沿って説明がなされました。鶴見年度での地区補助金のスケジュールでは、3月末日までに「MOU」をガバナー補佐（鶴見年度 以下同じ）へ提出する事が必須条件です。その後4月末日までにガバナー補佐へ事業計画書を提出し、記入漏れや利害の対立などを確認した後、ガバナー補佐が5月末日までに地区に提出します。6月下旬頃、鶴見ガバナーエレクト、小谷ガバナーノミニ、成瀬財団委員長の承認後、日本事務局の財団室へオンラインで申請します。早ければ8月の下旬頃に地区の専用口座に事業費が振り込まれる事となります。地区補助金は鶴見年度内に事業を終了すると共に報告書を提出しなければなりませんので、期限には充分気を付けてください。

地区補助金を利用する場合「奉仕事業」と「寄贈事業」に分類されており、配分金額に違いがあ

ります。「奉仕事業」とは事業を実施してゆく中で、ロータリアンも一緒に汗を流して活動する事業で、植樹、公園の整備、将棋大会の開催などの例があります。配分額は総事業費の66%か、50万円のどちらか低い金額となります。「寄贈事業」は文字通り物を贈呈する事で、本棚、モニュメント、特別養護老人ホームへのテレビ設置などの例があります。配分額は総事業費の30%か、30万円のうち低い金額となります。地区としては「奉仕事業」を多く実施したいので、ぜひ、「奉仕事業」にチャレンジして頂きたいと思います。

国際ロータリー財団の規制として「利害の対立」があります。ロータリアンやロータリアンが関与する企業が地区補助金の受益者となることを禁止しています。受益者とは補助金事業で工事を請け負ったり、物品を販売することなどで、違反した場合は地区補助金を返還することになります。補助金管理セミナーでお渡しした資料「ロータリー財団 地区補助金授与と受託の条件」に詳細が載っていますので、必ず確認願います。

グローバル補助金と地区補助金の説明が終わった後は、二つのクラブに事例発表して頂きました。

一例目はグローバル補助金の事業で、帯広ロータリークラブの小澤 昌博氏が発表しました。マレーシアの3300地区が実施国となり、きれいな水をカンボン パヤ セナヤンのオランアリス地区に供給するもので、総事業費が4万8千ドルの事業です。昨年9月下旬に完成引渡し式があり、帯広ロータリークラブから数人の方が訪問され、その時の様子を写真で紹介して頂きました。オランアリス地区は首都のクアラルンプールから車で2時間もかかる所だとのことで移動も大変だったようです。でも地元では大歓迎を受け、色々な人達から直接感謝の言葉を掛けられ、「良いことをした」と素直に感じられたとの事です。

二例目の発表は地区補助金の「奉仕事業」で、釧路北ロータリークラブの平井 昌弘直前会長が「駅伝絆プロジェクト ～たすきに想いをのせて～」と題して話されました。釧路市の小中学生を対象とした駅伝競走を企画し、15kmを5人がタスキをつなぎ、タスキをつなぐ行動を通して心も繋がることを感じてもらいたい、との思いを込めて開催されました。当日は残念ながら雨となり、コロナ感染症の影響もあって参加は5チームでしたが、最後のチームのアンカーが陸上競技場に入ってきた時に、同じチームの子供達が伴走し一緒にゴールしたのが、とても感動的であったと話されていました。

最後に鶴見 誠一郎ガバナーエレクトより講評を頂き、補助金管理セミナーを閉会しました。財団という「寄付」が頭に浮かぶロータリアンも多いと思います。寄付をすることも大事ですが、3年後に地区へシェアされる補助金をしっかりと目的を持って利用し、地域に還元させることも大切なことです。是非、グローバル補助金、地区補助金を上手に利用して、地域に貢献して頂きたいと思います。





職業奉仕月間に寄せて

地区職業奉仕委員会委員長 **丸 小 寿 幸**
(稚内南RC)

今月1月は職業奉仕月間です。これは、2015年より、「ロータリーの重点目標」を強調するために、ロータリーの特別月間が変更になりました。以来、1月が職業奉仕月間となっていて、クラブが職業奉仕の理念を日々実践することを強調する月間ということになっています。

ロータリーの目的は、次のように定義されています。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

(標準ロータリークラブ定款第5条)

職業奉仕は、このロータリーの目的の第2項を土台としており、①職業上の高い倫理基準、②役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること、③社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすることによる、事業人及び職業人の奉仕の理念が奨励されています。

また、職業奉仕は、ロータリーの5大奉仕部門の2分野であり、「事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」とされています。

ロータリアンの高潔性と倫理的行動を表しているものが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」です。

「四つのテスト」は、ロータリーの哲学を端的に表現し、職業奉仕の理念の実行に役立つものです。

1. 真実かどうか (Is it the TRUTH?)
2. みんなに公平か (Is it FAIR to all concerned?)
3. 好意と友情を深めるか (Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?)
4. みんなのためになるか どうか (Will it be BENEFICIAL to all concerned?)

「四つのテスト」は、1932年、ハーバートJ. テーラーによって考案されました。ジュエル・ティー社の次期社長候補であったハーバートJ. テーラーは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。再建にあたったテーラーは、社の倫理訓について構想をめぐらせ、最終的に自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。その後、4部門の部長にはかり意見の一致を見ました。クラブ・アルミニウム社では、あらゆることが、四つのテストに照らして判断され、1937年までに、同社の負債は完済され、その後の15年間では、株主に対して100万ドル以上もの配当が支払われ、同社の純資産は200万ドル以上に達したということです。

その後、「四つのテスト」はロータリアンの倫理的尺度として用いられ、現在では100か国以上の言語に翻訳されています。

「ロータリアンの行動規範」は、ロータリアンの論理的行動の枠組みを示したもので、1915年 サンフランシスコ国際大会で採択された、「ロータリーの倫理訓(道徳律)」が原点であり、1989年に「ロータリアンの職業宣言(8項目)」が採択され、2011年に「ロータリアンの行動規範(8項目)」となり、数回の改定がなされ次のように改定されています。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。(2019年1月理事会会合、決定119号)

ロータリークラブは時代に合わせて、様々な形に変化していくと思います。しかしながら、これらの職業奉仕という考えは、時代が変わろうとも、他の奉仕団体にはない、ロータリーを象徴する考えであり、金看板といえるものであります。

ロータリアンとして「四つのテスト」、「ロータリアンの行動規範」を意識して活動し続けて頂けることを念じております。

3年目を迎えた新型コロナウイルスの終息は見えず、第8波ともいわれる真っ只中でもロータリー活動が進められております。しかし、その中でもZOOMをはじめとするICT機器の活用や本年の地区大会がそうであったように、十分に対策を取りながらリアルでの活動することも可能となってきました。

職業奉仕委員会は、地区大会の前日に地区役員の皆様のお力添えも頂き10月にリアルで顔を合わせて集まりを持つことが出来ました。職業奉仕について様々な情報交換を行い有意義な時間を過ごすことが出来ました。

ロータリークラブの活動も、コロナ渦はなかなか取まらないかもしれませんが、今後ますます活発に活動を行うことが可能となると思います。

もちろん、職業奉仕活動も活動になると思います。そこで、2500地区の各ロータリークラブの皆様の職業奉仕活動について、この1月にアンケートをお願いすることといたしました。頂いた回答を取りまとめまして、今後の職業奉仕活動の参考として頂けるような情報発信をさせて頂きたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。



社会奉仕委員会

社会奉仕委員会委員長 **野村 文吾**
(帯広RC)

一昨年度から、第2500地区の社会奉仕委員長を拝命し3年目になります。引き続きコロナは終息せず、思った様には活動できてはいない状況でありながら、2月の「地区チーム研修セミナー」のためにリアルに旭川を訪れ、また10月の「地区大会」の際にも、実証地域と考えている旭川地区の業界の社長さまと打合せを重ねて来ています。

さて、コロナ禍を経て交通業界は未曾有の危機的状況にあります。加えて、スピードを増したか様にも見える「人口減少」がさらに追い打ちをかけている状況です。

この人口減少は、交通業界のみならず「街づくり」にも深い影を落とし始めました。それは税収が減少して行くにもかかわらず、上下水道や道路、除雪等のライフラインは元々のエリアで維持していかなければならないからです。

さらには、交通が無くなると街は縮小から消滅へ向かうという流れは避けられなくなります。

この状況を受けて日本政府は、「都市政策×交通政策」という政策を遂に打ち出し、加えて「コンテナ×交通」という「共創モデル事業」政策も合わせて打ち出し、政策転換を図りました。

我々地方都市はこれらを速やかに理解して変革に挑み、サステイナブルな街づくりを成し得て行かなければならないと考えております。

そこで、社会奉仕委員会では、交通の利用者を増やして交通を維持していく施策を進めてきています。その施策とは、交通の原理原則「不安解消×目的(地)提案」を企画化したものであります。

この企画はすでに2500地区内の3クラブで成果を上げた実績のあるものであります。

本年度、残り半分の6カ月で社会奉仕委員会はしっかりと活動してまいりたいと考えています。

ご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

3年に及ぶ新型コロナウイルスの影響による需要の激減に加え、燃料の高騰なども重なり、バス事業は未だかつてない経営危機に直面しています。今度も、こうした状況が繰り返され、自治体だけででは限界であり、企業の維持・継続が困難です。が、地域の生活を支えるインフラの維持を断念するわけにはいきません。北海道バス協会の会員企業は、お客様に安心してご利用いただくために、乗合バス・貸切バスともに感染対策をしっかり行ない、常に安全最優先でバスを運行しています。

バスは地域公共交通の骨(骨)幹(幹)です。北海道からバスがなくなれば、地域の暮らしに支障を及ぼし、さらに地域の存続に多大なご不便をおかけします。地域の足を守るため、住民の皆さまのご支援とご利用、一層のご理解をお願い申し上げます。

北海道バス協会 会長 平塚 一樹

取組団体 北海道バス協会 札幌地区・函館地区・室蘭地区・旭川地区・十勝地区・北見地区・釧路地区 各バス協会

共創モデル実証プロジェクト



- 交通を地域のくらしと一体で捉え、行政や金融機関と連携して取り組む、様々な他分野(エネルギー、医療、教育など)との垣根を越えた「共創型交通」のプロジェクトに対し支援を実施(令和3年度補正予算で第1弾を実施)。
- 令和4年度補正予算において、第2弾の共創モデル実証プロジェクトについて要求し、全ての共創の取組に対象を拡大するとともに、地域交通・まちづくり人材育成支援や、スタートアップ企業支援を実施。

共創モデル実証プロジェクト

交通を地域のくらしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、複数の主体が連携して行う取組を支援。実証運行の経費等を補助。

プロジェクト第2弾(全ての共創・人への投資)【実証運行経費等の2/3を補助(上限1億円)】

- 第1弾では1葉の交通における他分野共創の好事例が多数選定され全国で実施。【プロジェクト第1弾の例：プロジェクト15地域採択(令和4年6月)】
 ・デジタル配車システムを活用したタクシー事業者による介護送迎受託
 ・買い物(スミダグ教室、学習塾)コミュニティ内の親どしの助け合いで供送迎サービスの実施
 ・ニバスターミナル整備と、病院と連携した簡易健康診断や、貨客混載バスの運行
 ・買物や教育・エネルギー等、地域の暮らしのサービスと交通サービスを掛け合わせたサブスク等
- 未選定事例にも、交通事業者間共創(エリア内交通のリスク化)や、官民共創(まちづくりスマートシティ)など、他分野共創にとどまらない提案が多数応募。
- また、持続可能な地域交通の成功のカギは「地域交通・まちづくりと他分野を結び付けるコーディネート人材発掘」「若者スタートアップ企業との共創」の指摘あり。

⇒ 他分野にとどまらず官民、事業者間共創など全ての共創の取組を広く発掘
 ⇒ 地域交通・まちづくり人材育成支援や、スタートアップ支援を実施 等

プロジェクトイメージ

<プロジェクト第1弾：他分野共創>【R3補正】
 以下のような他分野と交通事業者の連携により、交通を地域で支える取組を行う地域をプロジェクトとして支援。事業費の2/3(上限2,000万円)を補助。



事業に関与 自治体・金融機関 共創モデル実証プロジェクト 立ち上げ支援

第4回 第1エリア代表者会議

国際ロータリー第2500地区 ローターアクト地区代表 **高嶋 修平**



2022年11月5日（土）花月会館（北海道旭川市3条通7丁目左8号）にて第4回第1エリア代表者会議が開催されました。

前回のエリア会議開催地区から、引継ぎを行うとともに当地区役員皆一丸となって無事に終えることが出来ました。

ご協力頂いた第一エリアのガバナーの皆様を始めロータリーの皆様、アクターの皆様にお礼申し上げます。

エリア会議は14地区を3つのブロックに分けた第一エリアの地区ローターアクト委員長、地区代表及び、地区代表エレクトが義務出席者として参加することになっており主に下記の4つの点を軸として決議や交流を行うものです。

- 1：当エリア全国研修会のホスト決め
- 2：エリア会議の開催地区選定
- 3：エリア会議の細則変更等における提案：
- 4：各地区の活動における情報交換

当地区役員の中で経験が豊富な会員が少ないこともあり2790地区直前代表・前年度第一エリア会議議長の小早川様の承認を得るところから会議は執り行われました。

第1号議案は第35回全国ローターアクト研修会の進捗状況についてです。

2610地区金沢ローターアクトクラブ 第35回全研実行委員長近藤様に石川県の魅力についてたっぷりとお話しいただきました。

全国研修会は2023年3月25日、26日に石川県金沢歌劇座にて開催となります。

第2号議案は第3回第一エリア会議の報告についてです。

前回のエリア会議は2790地区がホストとなりオンラインでの開催となりました。

第3回エリア会議の内容は

- ・エリア旗の定義について各地区の地区旗が揃った段階で承認すること
- ・全国研修会の開催基準をホストの裁量制にすること
- ・予算書、決算書のテンプレート化（書式統一化）
→まだ予算が通っていない 36 回目の全研から適用。 36 回の予算に関して本日この後の議題で内容を再審議し、石川富山全研で提出。日程変更についても再審議し石川富山全研で提出。
- ・第36回全国研修会、日程変更について

この4点についての報告が行われました。

第3号議案は2023-2024年 第一エリア代表者会議開催地選出の改定についてです。

本来、開催予定の第2ブロックから開催困難の申し出があったことから開催地の選出についての要

項を変更する必要があったためブロック輪番制のルールを改定し、次年度開催地区として立候補して頂いた2510地区から地区番号順の完全輪番制でエリア会議を開催することとしました。

第4号議案は第一エリア第3ブロックより第39回全国研修会のホスト地区選出についてです。

輪番制で開催するにあたり直近で開催していない地区である「千葉」「群馬」「栃木」の中で話し合い、結果を第5回代表者会議で報告することに。また、第9条。第10条の開催要項の変更について2840地区片桐代表から意見があり、第10条・1項→ブロックの中から選んでください、については意義なし。2項についてガバナーの承認を得たのち9条2項に従って全地区の承認が必要という部分について、研修会開催地区は所属地区がバナーの承認を得た上で、エリア会議の出席者の過半数の承認を得られれば開催地区として承認されるようにしたい。3項については削除を希望。4項については変更希望なし。5項目として前項の要項に基づき、研修会開催地区に選出された地区は直近に開催される全国代表者会議にて公表することに変更。規約改正に伴う決議が可決。

第5、第6議案はいずれも第36回全国ローターアクト研修会についてです。

第5議案は開催日・会場変更について、第6議案は予算案変更についての会議が行われました。

当初予定をしていた日程だと卒業式や謝恩会などと重なり宿泊先が困難なことが予想されるためガバナー承認を経て3月23日～3月24日に日程を変更。

当初予定していた会場である山根ホールは約2,000人を収容できるがガバナーエレクトと相談した結果約800人収容可能な山形テレサに変更することとなった。

また、第6議案では予算変更についてテンプレートの変更を実施した報告があった後に予算金額の変更案も議題としてあがったため、予算案を変更する議案を承認。

可決後、予算についての質問へ移行。

地区分担金や全研の予算案についてスタッフパーカーの枚数や名刺を制作するにあたっての経費について、さまざまな意見が出そろった結果、臨時で第一エリア会議を行い2800地区の臨時エリア代表者会議にて承認し第35回代表者会議で報告することとなりました。

私自身全国的なアクターが集まるイベントに参加したのが数少なく自分の地区以外のアクターの話の聴けるのはとても新鮮で多くを得ることができました。最後に、開催に伴いご協力いただいた各地区のガバナーを始めロータリーの皆様、アクターの皆様に感謝するとともにこのような大きな会議の年度に代表を務めることが出来たことを嬉しく感じております。





米山奨学生レポート

モハメド イスラエ
(帯広西RC)

ロータリ米山記奨学生のモハメドイスラエです。いつもお世話になっております。私は先進的で高度な日本の大学での研究活動を通し獣医学の博士号を取得するためにエジプトから来日しました。私は2019年の4月から研究を開始し、人類と環境の繁栄に密接に関わるウイルス感染症の制御における天然由来薬用植物の応用に着目してきました。帯広畜産大学の博士課程への入学は私の獣医師としての経験に大きな影響を与えました。この博士課程では、博士号の取得を達成するための助けとなる革新的なプログラムが提供されました。本課程のサポートシステムは素晴らしく、そこに関わる全ての人々が情熱を持ち互いに助け合っています。

帯広西ロータリークラブに入会できることを大変嬉しく思います。私はそこで様々な分野のメンバーと出会いました。私と私の家族は、お互いの違いを受け入れ、尊重し合いながら他の文化的背景を持つ人々と協力する機会を得ました。私たちはメンバーの家族と一緒に帯広動物園に行ったり、楽しい会を開催したり様々な社交イベントに参加しました。今月はクリスマスのお祝いで楽しいひと時を過ごしました。私の子供達は沢山の贈り物を貰いとても幸せそうでした。子供たちは身の回りの活動に興味を示し、ここで沢山の人たちと遊ぶことで社会的および知的に成長しています。

私の素晴らしい思い出の1つに、北海道のさまざまな地域のロータリー会員全員が参加する大規模な地区会議に参加し、ロータリーの奨学生全員に会い、皆さんの前で自己紹介をした経験があります。また、帯広東ロータリークラブからゲストとして招待されたことはと光栄でした。そこでメンバー全員に会い、私自身や家族、エジプトの紹介をすることができてとても幸運でした。日本での学習過程を通して自分の経験や課題について話し合い、表現する機会があったことは大変幸いでした。

イスラム教徒である私たちの宗教を尊重し、自分自身を表現することや、食べ物の選択において安全な環境を提供してくれたすべてのメンバーに深く感謝しております。彼らはまた、ラマダン（イスラム暦の9番目の月で、夜明けから日没まで厳格な断食が行われる月）の断食の時期についても理解して下さっていました。

日本での活動を可能にして下さいました私のカウンセラーである小野 辰夫様に感謝の意を表したいと思います。さらに、一緒に楽しい瞬間と忘れられない思い出を作ってくれた彼の家族にも感謝します。私がロータリー奨学会に参加している間、彼らは全てにおいて本当に協力的に接して下さいました。

国際ロータリー第2500地区
委員長・リーダー 各位

2022年12月13日

国際ロータリー第2500地区 ガバナー 久木 佐知子

ガバナーノミニー・デジグネート(2025-2026年度ガバナー)の公表

ガバナーとして、国際ロータリー細則第12条ガバナーの指名と選挙・12.010.項の規定により、2022年9月1日付けで地区内全クラブに対して2025-2026年度ガバナー候補者の推薦を同年11月30日までに提出するよう要請したところ、期日までに釧路北ロータリークラブからの推薦が1件ありました。その旨を地区ガバナー指名委員会（成瀬則之委員長）に報告いたしました。

2022年12月10日に地区ガバナー指名委員会が開催され、同委員会委員長より釧路北ロータリークラブ所属の佐渡正幸君をガバナーノミニー(2025-2026年度ガバナー)に選出した報告を、RI細則12.030.5項の規定により委員会閉会后24時間以内に受けました。

同項の規定により、通知を受けてから3日以内である2022年12月13日付けで、地区ガバナー指名委員会からの報告通り同君がガバナーノミニー・デジグネート（2025-2026年度ガバナー）に選出されたことを公表いたします。

つきましては、ご異議のある場合はRI細則12.030.7の定めに従い、12月27日までにガバナー事務所まで書面を以ってお申し立てください。



経歴書

2023-2024年度ガバナーノミニー予定者

佐渡 正幸 (さど まさゆき)

生年月日 1967年1月9日

勤務先 佐渡正幸司法書士事務所

主なロータリー歴

【クラブ】1998年 釧路北ロータリークラブ入会

2013-14年 クラブ幹事

2015-16年 クラブ会長

【地 区】2014-15年 ローターアクト委員長

2018-19年 IM実行委員長

2022-23年 ガバナー補佐エレクト

【表 彰】マルチプル・ポールハリス・フェロー

米山功労者

審議会代表議員の選出

ガバナーは、国際ロータリー細則第9条の規定により、代表議員と補欠議員を選出するために規定審議会地区代表指名委員会（吉田潤司委員長）に候補者の推薦を委ねた。

2022年12月10日に地区諮問委員会が開催され、規定審議会地区代表指名委員会副委員長（松田英郎副委員長）より、2022年11月28日に開催された委員会において、代表議員に成瀬則之君、補欠議員に細川吉博君を選出した旨報告がなされた。

報告を受けた地区諮問委員は、選出手続き並びに資格、代表議員の任務を確認の上、両名を全会一致で承認した

ガバナーはRI細則に基づき、選出された両名を国際ロータリーに報告致します。

【地区代表の任期】

2023年7月1日～2026年6月30日

2023年、2024年、2025年の決議審議会

2025年規定審議会

【代表議員】

成瀬 則之 パストガバナー(網走RC)

【補欠議員】

細川 吉博 パストガバナー(帯広北RC)



RI 日本事務局 財団室 NEWS

2022年12月号

疾病予防と治療月間
発行日 11月28日



ポリオプラス

【日本各地でのポリオ根絶活動に感謝】

今年も、10月24日の世界ポリオデーに合わせ、日本各地のクラブ・地区によってポリオ根絶活動が実施されました。子どもたちをポリオから守るためのご尽力、ありがとうございます！

10月24日の時点で、日本から40のクラブより活動情報をポリオ根絶支援サイトよりお寄せいただき、世界全体では4,000近くのご活動をご紹介いただきました。当サイトに寄せられたご活動のほかにも、世界・日本の多くのご活動やイベント、また個人によるポリオ根絶の取り組みも多く、その活動内容は多様性を増しています。ご活動の一部をご紹介します。記事の続きは[こちら](#)

[2022年世界ポリオデーのオンライン特別プログラム](#)

<関連リンク>

- [人生の70年をポリオとともに](#)
- [世界ポリオデーの特別プログラム](#)
- [ユニークなだけじゃない、世界各地のポリオ根絶活動](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: GPEI ウェブサイト(英語)

		2022年 1月1日～ 11月22日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	20	1	84	147
	アフガニスタン	2	4	56	29
非常 在国	モザンビーク	8	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		30	6	140	176



[My ROTARY RILEート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

2022年11月18日現在	
アメリカ	\$ 23,691,097
韓国	\$ 10,232,305
日本	\$ 5,395,589

2022-23年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,500万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億3,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 242
AKS会員数 58
PHS会員数 1271



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

273

2022年12月13日
発行

1. 電話詐欺被害を防いだ学友に感謝状

10月17日午後23時半ごろ、甲府市内のコンビニエンスストアでアルバイトをしていたレー・チュオン・ロクさん(2020-22/甲府南RC)が、70代後半の男性客より「電子マネーカードを大金でまとめて購入したい」という申し出を受けました。不審に思い用途を確認したところ、目的や電子マネーカードに関する理解度が曖昧だったことから、電話詐欺を確信。110番通報を行い、男性客が電話詐欺被害に遭うのを未然に防ぎました。

第2620地区の渡辺郁米山記念奨学委員長によ



甲府署で感謝状を受け取ったロクさん(中央)

ると、ロクさんは真面目で正義感が強い学生とのこと。

「日本人でさえ声掛けを躊躇することが多い中で、人や社会のために役に立ちたいと考え、行動するロクくんだからこそ、できた行動だったと思います」と、ロクさんの

対応を称賛しました。

甲府警察署は11月28日、この勇氣ある行動に対し、天野英知署長が感謝状を贈呈。受け取ったロクさんは、「詐欺被害を防ぐことができとても嬉しいです。今後も地域社会に貢献できるよう頑張ります」と、述べました。

2. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 5.5%

普 - 1.7% 特 + 9.2%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて5.5%増(普通寄付金:1.7%減、特別寄付金:9.2%増)、約3,700万円の増加となりました。多くのロータリ

アンからご寄付をいただきまして、厚く御礼申し上げます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。詳細は、ページ下の案内をご覧ください。年内はお早目にご送金くださいますようお願いいたします。

3. 第5代よねやま親善大使を募集 (2/15まで)

ロータリー米山記念奨学会では、第5代よねやま親善大使の募集を開始します。「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・米山セミナーなどでスピーチを行い、当事業への理解を広める活動をしています。奨学期間を終了した日本国内在住の米山学友で、スピーチが得意な方、ロータリー活動に熱意のある方の

応募をお待ちしています。任期は2023年7月から2年間、応募締切は、2月15日(当会必着)です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」>「重要なお知らせ」をご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください!

(※学友本人からの応募が必要です)

申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(金) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(水)~1月5日(木)の間休業させていただきます。来年は1月6日(金)より通常業務となります。

4. 韓国米山学友会総会が3年ぶりの対面開催



11月26日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催されました。同学友会の総会は3年ぶりに対面開催となり、会場には60人が参加しました。

第1部は、全炳台会長（1980-83/仙台北RC）の挨拶を皮切りに、当会の若林紀男理事長

からのビデオメッセージが上映され、梨泰院での事故への追悼の意を表すとともに、同学友会の発展と世界平和への願いが語られました。また、滝澤功治副理事長が会場に出席し、激励の言葉を述べました。

韓国の現代音楽である「サムルノリ」の公演で華々しく幕を開けた第2部は、同学友会が独自で支援する現地日本人奨学生の近況報告や、来年8月5日・6日につくば市で開催される世界大会「再会 in 関東」の紹介などが行われました。ようやく対面での開催ができた今回の総会には、日本からも多数の学友やロータリアンが出席し、大盛況となりました。

5. 米山の絆を深めてポリオ根絶をアピール

10月23・24日、国際ロータリー第2750地区の米山奨学生・ロータリアン一泊研修旅行が開催されました。米山奨学生同士の絆、米山奨学生とロータリアンとの絆を深めることに重点を置いたという今回の研修旅行には、米山奨学生20人、ロータリアン21人、ローターアクター1人の、総勢42人が参加。

目的地の伊勢神宮では、御神楽奉納などを特別拝観し、日本の歴史と伝統を体感。また、24日の「世界ポリオデー」に合わせ、全員で「エンドポリオノウ」のシャツを着用。ポリオ根絶をアピールするとともに、参加した奨学生も、



お揃いのシャツで記念撮影

ポリオへの関心と理解を深めました。同地区の柳田一行米山記念奨学委員長は、「奨学生たちが心から楽しんでいる姿、素敵なお笑顔が、ロータリアンとして最高の幸せを感じた瞬間でした」と、充実の研修旅行を締めくくりました。

6. 「恩返し」のチャリティー奉仕リレー第2弾

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

前回の国際ロータリー第2770地区米山学友会に続く第2弾として、11月13日、第2750・2580地区米山学友会、ローターアクタークラブによる「南北合同地区行事」が開催され、募金活動とプロギング活動（ジョギングとゴミ拾いをミックスした、スウェーデン発祥の取り組み）を行いました。募金活動では、



取り組みについて紹介する米山学友

米山奨学生として支援をいただいた「恩返し」として、日本の貧困に苦しむ子どもたちへの教育支援をしたい、という学友たちの思いに対し、多くの寄付が集まりました。

以前から、こども食堂への支援を行っている第2750地区米山学友会の李炫漆会長（2011-13/東京お茶の水RC）は、「チャリティー奉仕リレーにローターアクターが初参加し、ロータリーファミリーの横の輪が広がり、嬉しく思います」と、述べました。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2023年1月号 No. 1

発行: Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリーコーディネーター補佐

辻 正敏

(津RC)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。唐突ですが、ステータスという言葉があります。日本語では「社会的な基準であり地位の高さ」という意味を持ちます。英語では、ただ「地位」です。以前ロータリーに入るとステータスが上がると言いました。今も言うのかも知れません。逆に言うと、ロータリーに入っている人は、入っていない人より地位として高くなると言えます。理屈を捏ねるつもりはありません。「あなたはロータリーという理念や思想にふさわしい人ですかと日々自問自答していますか」と聞かれたらどう答えますか。

11月のロータリー研究会で国際ロータリー会長のジェニファー・ジョーンズさんが基調講演（同時通訳）の中で、ご自身の弟が言った言葉として、「市民生活、自分自身の生活そのものがロータリー」を紹介され、続けて「周りで起きる様々な事件は対処対応の機会を与えてくれている」のだと語られました。そのような考え方ができる人、またはそのように考えられる人になろうとすることがロータリアンだと私には聞こえました。そこで改めてロータリアンのステータスについて考えてみることにします。私が思い出した言葉は「ノブレス・オブリージュ」です。欧米で定着した道德観です。「貴族や上流階級などの財産、権力、地位を持つ者は、それ相応の社会的責任や義務を負う」というものです。日本では「分相応」という言葉がありますが、それよりは明確な意味のように聞こえます。また「ノブレス・オブリージュ」は「騎士道」と繋がる言葉とありました。騎士道は、忠誠と勇気に加え、敬神・礼節・名誉・寛容、また女性への奉仕などの徳を理想としました。

日本には「武士道」があります。武士道は、君主への絶対的な忠誠の他、信義、尚武、名誉などを重んじました。少し詳しく言うと、義（正義）・勇（正義を貫く勇氣）・仁（慈愛）・礼（心からの礼儀）・誠（正直誠実）・名誉（恥を知る）・忠義（忠誠）の七つの徳でした。この七つの徳を「四つのテスト」と比べてみることにしました。ここからは私を感じるままに書きましたのでお許しください。1番目の「真実かどうか」は義・勇・誠・忠義が、2番目の「みんなに公平か」は礼・誠・名誉、次の「好意と友情を深めるか」は仁・礼・誠、最後の「みんなのためになるかどうか」はロータリーの理念や考えに忠実かとなって仁・誠・名誉・忠義です。こうして考えると武士道と騎士道では敬神と女性への奉仕が異なるくらいです。しかし敬神は、騎士道の世界では一神教ですから書かれますが、武士道と言いますか日本は多神教で宗教を問いません。ただ女性への奉仕というのは異なります。これが今盛んに言われている女性会員がまだまだ少ない原因かも知れませんかと言ったら飛躍し過ぎでしょうか。中核的価値観とも簡単に比べてみましょう。中核的価値観は、親睦・奉仕・高潔性・多様性・リーダーシップです。親睦は仁、礼であり誠、奉仕は義であり勇、高潔性は義、勇であり誠、多様性は仁であり礼、リーダーシップは義、勇、仁、礼、誠、名誉、忠義のすべてと言えます。細かいことは別として、昔から人として生きるために言われてきたことは、ロータリーが現在言っていることにも通じていると思います。よく言われる職業奉仕が忘れられたという話も武士道騎士道がロータリーの考えに通じるところがあるとすれば、職業奉仕は忘れられてはいません。両道とも武士、騎士という階級ですが、当時の職業と言ってもよいと思います。すると武士道も騎士道もその職業の掟とも言えます。

どうも近頃ロータリーを難しく考える風潮を感じます。何か理論や難しい言葉、特にロータリーが好きな略語の羅列がまかり通っています。誰でもわかる言葉で易しく簡単にロータリーの話をするだけでよいのではないのでしょうか。それが最も公共イメージ向上につながるのではないのでしょうか。公共イメージの向上はロータリーのステータスを上げるからです。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年1月号 No. 2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



I serveの公共イメージ

第2地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

神野 正博

(七尾RC)

ロータリーのDEIのDiversity多様性は、会員の人種や国籍、性別、年齢、障がいの有無、宗教、性的指向、価値観などの多様性から、キャリアや経験、職歴、働き方といった職業生活における多様性まで幅広いジャンルで用いられる。

私は、2021-22年度の国際ロータリー第2610地区のガバナーとして、コロナウイルス感染症の状況を横目に見ながら、地区内64クラブへオンラインカリアルか、公式訪問を行った。その中で、クラブにも多様性があることに気付いた。RI会長テーマや地区ガバナー方針など同じコンテンツが流れるものの、その解釈や実効性は多様だ。

決して類型化するわけではないが、大きく3つのクラブ形態があるように思えた。

- ① 伝統あるクラブでのI serve
- ② 中間型
- ③ 比較的若いクラブでのWe serve

すなわち、③で示した地域における社会奉仕を目的として会員が集った元気のいいクラブでは、We・皆で集まり奉仕活動をやり、積極的にマスコミやSNSに情報発信し、公共イメージを向上させる。まさに、一人でできないことでも徒党を組むことで、自己実現を狙うわけだ。

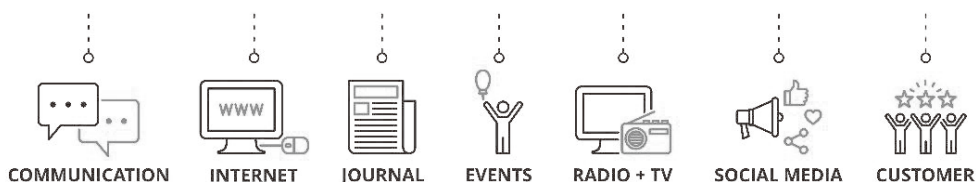
一方、①の伝統と格式を誇る老舗クラブだ。このの会員になることがステータスであり、また、地域の企業や組織のリーダーを会員とする。例会での、情報交換こそが職業奉仕であり、それがI serveである。ここでは、「陰徳」の日本の精神とともに公共イメージ向上へのインセンティブは低いかもしれない。

そして、②のその中間型クラブが大半を占める。クラブの重鎮の意見や特に会長の考え方で年度の取り組みは異なる。いわば、会長イニシアティブ型だ。

敢えて、どの類型が是か否かはない。繰り返すがクラブの多様性だ。ただ、新入会員にとって、自分の思いとクラブの考え方で乖離があったならば不幸だと言えよう。

各クラブが、自分たちのMission, Vision, Valueを、また、なりたい姿、ありたい姿を明文化してみよう。さらに個々の会員が「私は誰だ?」「なぜロータリーにいるのか?」といった物語を明文化してみよう。それを、地域に公開することで、地域における公共イメージを確立し、同行の士を募ることができるのではないだろうか。

PUBLIC RELATIONS



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年1月号 No. 3

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

高橋 茂樹

(東京世田谷RC)

ロータリー財団地域コーディネーター補佐を拝命して3年目の第2地域、RI第2750地区、東京世田谷ロータリークラブ所属の高橋茂樹と申します。

2020-21年度、2021-22年度はCovid-19の影響を受けて、ARRFCとして十分な活動を行なうことができませんでした。3年目の本年度は、第2地域の中で私が担当をさせていただいております5地区のロータリー財団委員長の皆さんとも対面でお話ができる状況になり、やっと担当地区にも伺うことができるようになりました。もともと第2地域では、チームFF9と言う第2地域内の9地区のロータリー財団委員長の会がありますので、比較的情報交換が行われているものと思いますが、それでも、コロナの影響は大きかったと思います。

その様な状況の中、11月19日に神戸で開催されました本年度のロータリー財団地域セミナーも全国から200名を超える皆様にお越しいただき、盛大に行なうことができました。今回のセミナーの中で、私は2つのパートを受け持たさせていただきました。1つは、第1地域の羽部大仁直前RRFCとご一緒に、「PHS(ポールハリスソサエティ)入会を推進する」と言うテーマで掛け合いでのお話をいたしました。もう一つは、「ロータリー財団のクラブへの認知度向上」と言うテーマでのパネルディスカッションで、4地区のロータリー財団委員長の皆様にパネリストになっていただき、モデレーターを務めさせていただきました。そして、これらを担当させていただくにあたり、いろいろと調べさせていただきました。ここで思いました幾つかの点について述べさせていただきます。

まず、PHSに関しましては、PHS会員数が100名以上の地区は3地区しか無く、更に14地区でまだPHSコーディネーターがアサインされていない状況と言うことが分かりました。地区にとっても、クラブにとっても寄付目標を達成するために、PHS会員を増やすことは、とても重要なことと考えます。是非、PHS入会を地区として推進していただければと思います。

また、パネルディスカッションを行なうにあたって、34地区のホームページを全て拝見いたしました。そこで感じましたことは3つありました。一つ目は、ロータリー財団に関する情報が少なすぎることです。二つ目は、独自の情報では無く、マイロータリーへ誘導したり、ロータリー日本財団のホームページやロータリー財団ニュースを掲載することで、済ませているケースが多いと言うことです。マイロータリーに誘導するのであれば、その前提として、マイロータリーの登録を推進しなければなりません。そして、3つ目は、地区のロータリー財団委員会がこれで本当に機能しているのかと思える地区があると思えることです。

皆様の地区のホームページをご覧ください。ロータリー財団に関する情報のあり方について、検討していただければ幸いです。また、同時に、どの様な委員会組織にすれば、より効果的な、より実践的な委員会活動が行えるかも、再検討いただければと思います。

ロータリー財団がなぜ必要なのか、なぜ重要なのか、その答えを、是非、もう一度お考えいただき、実行していただきます様お願い申し上げます。

国際ロータリー第2500地区

新入会員の紹介

第3分区 旭川ロータリークラブ



きりどおし ようへい
切通 洋平

- 証券
- 1978年11月27日生
- 10月21日入会

横浜から旭川に単身赴任して参りました。奉仕活動や例会を通じて皆さんと交流を深めながら、地域の持続可能な発展に貢献させていただきます。

第6分区 音更ロータリークラブ



さとう かずのり
佐藤 和徳

- 舗装工事業
- 1970年4月14日生
- 10月19日入会

ウイスキーと音楽全般が趣味です。家族構成は妻一人、愛犬一匹。諸先輩方から様々な学びさせて頂きたいです。工藤静香と同じ生年月日です!!

第7分区 釧路北ロータリークラブ



やすだ こうすけ
安田 浩佑

- 保険代理業
- 昭和59年9月3日生
- 11月9日入会

ロータクトの経験を活かし微力ながら釧路北RCに貢献出来ればと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

第7分区 釧路南ロータリークラブ



ゆだ りょうすけ
湯田 良介

- 鷹工事
- 昭和55年7月11日生
- 11月25日入会

早くクラブに馴染み、色々な活動を通して勉強したいと思います。宜しくお願い致します。

第8分区 根室ロータリークラブ



こおり のぶき
桑折 伸己

- 保険
- 1966年4月22日生
- 11月29日入会

地域に根差した様々な取組みを通じ、希望に満ちた活動に貢献してまいります。

ロータリー財団寄付者報告

第2分区 名寄ロータリークラブ

おおの しんいちろう
大野真一郎 寄付月日 2022年12月8日
寄付種類 PHF+2

第2分区 名寄ロータリークラブ

しらき こう
白木 剛 寄付月日 2022年12月8日
寄付種類 PHF

第5分区 網走ロータリークラブ

なるせ のりゆき
成瀬 則之 寄付月日 2022年11月25日
寄付種類 PHS

第5分区 北見ロータリークラブ

かえりやま てつお
帰山 哲雄 寄付月日 2022年11月30日
寄付種類 PHF

第5分区 北見ロータリークラブ

たかはし よしつぐ
高橋 宜嗣 寄付月日 2022年11月30日
寄付種類 PHF

第5分区 北見東ロータリークラブ

なかじま つよし
中島 強 寄付月日 2022年11月24日
寄付種類 PHF

第5分区 北見東ロータリークラブ

なかやま だいさぶろう
中山大三郎 寄付月日 2022年11月24日
寄付種類 MPH F+6

第5分区 北見東ロータリークラブ

やまもと きいち
山本 貴一 寄付月日 2022年11月24日
寄付種類 MPH F+5

第5分区 北見西ロータリークラブ

くぼの うち さとる
窪之内 覚 寄付月日 2022年11月28日
寄付種類 PHF

第7分区 釧路西ロータリークラブ

さとう かずひこ
佐藤 和彦 寄付月日 2022年11月29日
寄付種類 MPH F

第7分区 釧路ベイロータリークラブ

ひらの ともこ
平野 知子 寄付月日 2022年12月7日
寄付種類 PHF

米山功労者報告

第6分区 帯広西ロータリークラブ

おくだ よりまさ
奥田 頼昌 寄付月日 2022年11月28日
米山功労者 2回

第6分区 帯広西ロータリークラブ

わかばやし たけし
若林 剛 寄付月日 2022年11月28日
米山功労者 2回

第6分区 帯広西ロータリークラブ

いいだ まさゆき
飯田 正行 寄付月日 2022年11月28日
米山功労者 1回

第6分区 帯広ロータリークラブ

たけかわ ひろゆき
竹川 博之 寄付月日 2022年11月30日
米山功労者 3回

第6分区 帯広ロータリークラブ

むらまつ かずき
村松 一樹 寄付月日 2022年11月30日
米山功労者 2回

第6分区 帯広東ロータリークラブ

こかわ なおや
古川 直也 寄付月日 2022年11月29日
米山功労者 1回

第8分区 根室ロータリークラブ

さとう たかし
佐藤 隆 寄付月日 2022年11月18日
米山功労者 1回

第8分区 根室西ロータリークラブ

さくち けんじ
作地 健二 寄付月日 2022年11月17日
米山功労者 1回

例会出席率及び会員数推移

2022年11月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前 月	当 月	増 減	女 性 会 員
1	礼 文	3	66.0	14	14	0	0
	利 尻	4	80.0	19	19	0	0
	利 尻 島	2	60.0	11	11	0	1
	天 塩	1	75.0	12	12	0	2
	豊 富	4	100.0	20	20	0	1
	稚 内	3	62.0	44	44	0	2
	稚 内 南	3	71.6	37	37	0	2
	計		73.5	157	157	0	8
2	美 深	3	81.2	23	23	0	1
	枝 幸	2	58.0	26	26	0	0
	名 寄	4	66.81	56	56	0	2
	中 頓 別	4	78.8	13	13	0	0
	士 別	4	80.1	44	44	0	1
	計		74.2	162	162	0	4
3	旭 川	4	65.17	61	61	0	0
	旭 川 東	3	-	31	31	0	0
	旭 川 北	3	76.74	43	43	0	0
	旭 川 南	3	-	29	29	0	0
	旭 川 西	4	78.52	53	53	0	5
	旭 川 東 北	3	-	16	16	0	1
	旭川モーニング	2	-	21	21	0	2
	旭 川 空 港	5	73.8	16	16	0	3
	美 瑛	4	54.4	27	29	2	0
	富 良 野	3	63.0	46	46	0	3
	上 川	3	93.33	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	68.25	21	21	0	3
		計		71.7	374	376	2
4	遠 軽	3	74.4	41	41	0	2
	紋 別	3	55.03	29	29	0	0
	紋 別 港	3	78.49	28	28	0	0
	中 湧 別	3	92.59	10	10	0	0
	興 部	4	78.33	15	15	0	0
	雄 武	5	72.7	12	12	0	0
	滝 上	3	78.6	14	14	0	1
	計		75.7	149	149	0	3

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前 月	当 月	増 減	女 性 会 員
5	網 走	4	75.48	52	52	0	8
	網 走 西	2	58.12	50	50	0	0
	美 幌	2	74.5	54	53	-1	6
	北 見	4	73.32	57	57	0	5
	北 見 東	2	65.54	43	43	0	2
	北 見 西	3	74.2	62	62	0	0
	清 里	1	73.3	30	30	0	0
	留 辺 薬	3	69.57	23	23	0	1
	斜 里	3	87.8	33	33	0	4
		計		72.4	404	403	-1
6	足 寄	1	55.1	29	29	0	1
	広 尾	2	63.16	19	19	0	0
	上 士 幌	4	77.0	13	13	0	0
	芽 室	2	72.7	22	22	0	1
	帯 広	4	64.4	90	90	0	6
	帯 広 東	4	79.3	40	40	0	2
	帯 広 北	3	55.37	62	62	0	2
	帯 広 南	3	68.98	67	67	0	7
	帯 広 西	3	100.0	85	85	0	5
	音 更	2	70.2	42	42	0	5
清 水	3	-	19	19	0	2	
	計		70.6	488	488	0	31
7	釧 路	4	84.21	96	98	2	1
	釧 路 東	4	67.0	33	33	0	0
	釧 路 北	4	74.0	110	111	1	13
	釧 路 南	4	70.0	26	27	1	4
	釧 路 西	3	68.0	27	27	0	1
	釧 路 ベ イ	4	73.7	21	21	0	3
	音 別	3	69.0	15	15	0	0
	白 糠	4	67.5	10	10	0	0
	計		71.7	338	342	4	22
8	厚 岸	3	71.4	14	14	0	0
	別 海	3	50.0	11	11	0	0
	浜 中	4	81.7	12	12	0	1
	中 標 津	2	61.0	27	27	0	1
	根 室	3	63.0	35	36	1	0
	根 室 西	2	70.55	50	50	0	1
	弟 子 屈	2	71.1	19	19	0	2
		計		67.0	168	169	1
	総 計		72.1	2,240	2,246	6	116

第2500地区 全66クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
	2,240	2,246	6	72.1%
女性会員数	116	116	0	

2022-23 RI第2500地区

2023年 (令和5年) 1 月		2023年 (令和5年) 2 月		2023年 (令和5年) 3 月	
1	日 祝日 元日	1	水	1	水
2	月 振替休日	2	木	2	木
3	火	3	金	3	金
4	水	4	土 旭川南RC50周年	4	土 地区チーム研修セミナー(紋別)
5	木	5	日	5	日 会長エレクト研修セミナー(紋別)
6	金	6	月	6	月
7	土	7	火	7	火
8	日 国際協議会(米・オーランド)	8	水	8	水
9	月 祝日 成人の日 国際協議会(米・オーランド)	9	木	9	木
10	火 国際協議会(米・オーランド)	10	金	10	金
11	水 国際協議会(米・オーランド)	11	土 祝日 建国記念の日	11	土
12	木 国際協議会(米・オーランド)	12	日	12	日
13	金	13	月	13	月
14	土	14	火	14	火
15	日	15	水	15	水
16	月	16	木	16	木
17	火	17	金	17	金
18	水	18	土	18	土 第6分区分IM
19	木	19	日	19	日
20	金	20	月	20	月 祝日 春分の日
21	土	21	火	21	火
22	日	22	水	22	水
23	月	23	木 祝日 天皇誕生日	23	木
24	火	24	金	24	金
25	水	25	土	25	土 第5分区分IM
26	木	26	日	26	日
27	金	27	月	27	月
28	土	28	火	28	火
29	日			29	水
30	月			30	木
31	火			31	金

下期行事予定表

2023年 (令和5年) 4 月			2023年 (令和5年) 5 月			2023年 (令和5年) 6 月		
1	土	第1分区IM	1	月		1	木	
2	日		2	火		2	金	
3	月		3	水	祝日 憲法記念日	3	土	清水RC60周年
4	火		4	木	振替休日	4	日	
5	水		5	金	祝日 こどもの日	5	月	
6	木		6	土		6	火	
7	金		7	日		7	水	
8	土	第3分区IM	8	月		8	木	
9	日		9	火		9	金	
10	月		10	水		10	土	第8分区IM
11	火		11	木		11	日	
12	水		12	金		12	月	
13	木		13	土	根室西RC50周年 第7分区IM	13	火	
14	金		14	日		14	水	
15	土	分科会打合せ 懇親会(紋別)	15	月		15	木	
16	日	地区研修・協議会(紋別)	16	火		16	金	
17	月		17	水		17	土	第4分区IM
18	火		18	木		18	日	
19	水		19	金		19	月	
20	木	クラブ活性化セミナー(東京)	20	土	ローターアクト地区大会(美幌)	20	火	
21	金	クラブ活性化セミナー(東京)	21	日	第2分区IM	21	水	
22	土		22	月		22	木	
23	日		23	火		23	金	
24	月		24	水		24	土	地区財団申請会議(紋別)
25	火		25	木		25	日	
26	水		26	金		26	月	
27	木		27	土	国際大会(豪・メルボルン)	27	火	
28	金		28	日	国際大会(豪・メルボルン)	28	水	
29	土	祝日 昭和の日	29	月	国際大会(豪・メルボルン)	29	木	
30	日		30	火	国際大会(豪・メルボルン)	30	金	
			31	水	国際大会(豪・メルボルン)			



2022~2023年度
国際ロータリー第2500地区
Rotary International District 2500

ガバナー事務局

〒070-0043
旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル6F
TEL: 050-5444-5129 FAX: 050-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

Governor Office

〒070-0043
1Chome Tokiwadori Asahikawa Japan
Dohoku Keizai Center Building 6F
PHONE: +81-50-5444-5129 FAX: +81-50-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

<http://rid2500.jp/2022-2023/>

